

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
-----	-----------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	大和ハウス プレミストーム	所在地	豊平区羊ヶ丘1
開設時期	2001年6月	延床面積	98,232.17㎡
目的	内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する。		
事業概要	クローズドアリーナ、オープンアリーナ、展望台その他の施設を利用に供すること、及びその他ドームの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	クローズドアリーナ、オープンアリーナ、サッカー練習場、トレーニングルーム、駐車場等		
2 指定管理者			
名称	株式会社札幌ドーム		
指定期間	2023年4月1日～2028年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由： ・株式会社札幌ドームは、2001年の札幌ドーム開業時から施設の管理運営を行っており、経営面においても安定した経営を継続している。また、積極的な改良工事を行うなど来場者サービスの向上に努めており、施設の良好な管理が行われていること。 ・株式会社札幌ドームは、プロ野球とプロサッカーをはじめ、2002 ワールドカップサッカー大会、ラグビーワールドカップ2019、東京 2020 オリンピック等の国際スポーツ大会、コンサート、展示会その他の催物に多目的に使用される札幌ドームを公正・中立な立場で様々な利用調整を実施してきた実績があり、これらの施設利用者との継続的な関係を構築している同社の存在が不可欠であること。 ・株式会社札幌ドームは、札幌ドームという公の施設では他に類を見ない大規模な施設を経営するために、本市のほか、民間企業の出資により設立した株式会社であり、開設当初に民間企業からの人材派遣等を受けるなど、札幌ドーム運営のための様々なノウハウを蓄積しており、指定管理を行う団体と施設の関係が密接不可分であること。 ・株式会社札幌ドームは、本市が出資する第3セクターとして、今後見込まれる札幌ドームの多額な保全改修費用の負担に備え内部留保を行うなど長期継続的な視野を持って事業運営を行っているほか、自主事業による収益から積極的に本市に利益還元を行っており、本市としても、長期的な視野を持って札幌ドームを維持していく上で、札幌ドームの指定管理者に対し継続的・積極的に関与する必要があること。 以上のことから、札幌ドーム条例第3条第2項の規定に基づき、札幌ドームの指定管理者については非公募とした。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸館業務(利用料金制度)、イベント実施支援、ドームの利用促進事業、アマチュア大会の実施及び市民利用事業等		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和7年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
----	------	------------	--------

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼管理運営方針に沿った事業実施 施設の設置目的を実現し、指定管理者としての責務を果たすための管理運営方針を以下の通り策定しており、これに基づいた事業活動を実施した。 1.施設の設置目的を実現するための適切な平等利用を確保します。 2.すべてのお客さまの安全と安心を確保します。 3.全天候型多目的施設の魅力と可能性を最大限発揮します。 4.健全かつ安定的な経営を継続します。 5.更なるサービス向上と地域社会への貢献を目指します。 ▼「SV-31」及び「中期経営計画2027」に沿った事業実施 大和ハウス プレミストドーム開業30周年を迎える2031年に向けてのありたい姿として掲げた長期ビジョン『SV-31』の実現に向けて「主催者連携による利益最大化」「多様な価値や変化への対応」「社員の成長・スキルアップ」「親しみのある地域のシンボル」「環境にやさしい企業」「新たな市民文化の共創」という6つの基本戦略に基づき策定した、当事業年度から始まる3ヶ年計画『中期経営計画2027』のもと、事業活動を進めてきた。	・管理運営方針とともに、「SV-31」及び「中期経営計画2027」を策定し、その基本方針、基本戦略に基づいて、札幌ドーム設置目的を実現するために、事業を展開した。	A	B	C	D
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼平等利用の確保 平等利用を確保するために、統括管理者のもと、札幌ドーム条例及び同施行規則の利用承認基準を遵守すべく、社内規則とシステムを整備し運用している。 貸館事業については、利用承認にあたって、条例に則った手続きを一元管理できる独自の貸館システムを構築して運用にあたっているほか、新規の利用希望者については取引先信用調査規程に則って信用調査を実施し、公共に資する利用がなされるように努めている。 市民利用事業については、札幌市公共施設予約情報システムを活用するほか、専用の受付電話を設置するなど、市民の公平な利用に注意を払い、業務にあたった。	・平等利用を確保するために、札幌ドーム条例及び同施行規則に則って、社内規則や決裁フローを整備。貸館事業では独自システムの運用、市民利用事業では市システムの運用を行い、公共施設の役割を果たしている。	全ての要求水準を達成し、「地球温暖化対策および環境配慮の推進」、「要望・苦情対応」の項目については要求水準を超える取組が行われていることから、『A』評価とする。 なお、小項目別の評価は以下のとおり。 管理運営方針のほか、長期ビジョン「SV-31」及び「中期経営計画2027」を策定しており、その基本方針、基本戦略に基づき良好に施設を管理運営している。 札幌ドーム条例、同施行規則等を遵守し平等利用の確保に努めている。			

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼「環境方針」及び「ECO MOTION 2030」に沿った取り組み 2008年3月に制定した「環境方針」のもと、2022年度を初年度、2030年度を目標年(基準年は平成28年度)として第二次の環境目標となる「ECO MOTION 2030」を策定し、脱炭素社会・循環型社会の実現に向けて一層取り組みを進めている。重点的に取り組むべき指針としては「マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底」、「脱炭素社会に向けた取り組み」、「循環型社会に向けた取り組み」及び「生物多様性の保全と環境啓発活動の推進」の4つとし、より現状に即した内容としながら未来の子どもたちのために、人と自然にやさしい施設を目指した取り組みを進めている。 なお、数値目標は「脱炭素社会に向けた取り組み」としてCO2排出量の削減と、「循環型社会に向けた取り組み」として一般ごみ排出量の削減の2項目に絞り、札幌市と同様に平成28年度を基準年として、施設運営と脱炭素社会・循環型社会の実現を両立するため一層努力をしている。 ▼各テーマにおける具体的な取り組み及び結果は以下のとおり ＜マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底＞ 令和3年度までは環境への取り組みの推進を目的として「エコ推進会議」を開催していたが、環境の視点のみならず、SDGs全体の取り組みを一層推進するため、令和4年度からは「SDGs推進会議」という新たな会議体を設置している。 エネルギー使用量や廃棄物排出量の削減、環境意識の啓発などに向け、各部門の環境活動状況の把握と具体的な対応策を検討し、社内に発信した。この会議を通して全社員が当社の担う日々の業務をSDGsと関係付けて行動することで、大和ハウス プレミストドームの一層の付加価値向上に繋げる。 ＜脱炭素社会に向けた取り組み＞ [目標]省エネルギーによるCO2排出量の削減 CO2排出量を2016年度より60%削減 (目標年:2030年度) [結果] 5,702t(前年5,525t、前年対比3.2%増加、基準年対比40.9%削減) [取り組み] ・館内各所空調、自然換気・採光の適正運用 ・エコキュート及びエコノパイロット等の適正運転 ・太陽光発電設備の適正管理 ・アリーナ照明(イベント、場面転換作業等)の緻密な制御 ・ごみの減容化による輸送効率化	・環境マネジメント体制を確立し、法令遵守のもと、数値目標達成に向けて、多岐にわたる取り組みを実施した。 照明類のLED化や空調・照明などの緻密な制御と適正運用に努めたが、前年よりも大規模イベントが増えたことにより、CO2の排出量は前年比3.2%の増加となった。	プレミストドームは大型イベントが開催される施設であるため、エネルギー使用量や廃棄ごみの量については、イベントの開催状況や来場者数の影響を大きく受けるが、施設管理者として、方針を策定するなど、地球温暖化対策及び環境配慮の推進に係る様々な取組を積極的に実施している。特に、重点的に取り組む指針や具体的な数値目標を方針等において定め、2022年度からは、環境の視点のみならず、SDGs全体の取り組みを一層推進するため、「SDGs推進会議」を開催し、目標達成に向け具体的な取組を実施している。また自社での取組に留まらず、対外的な環境啓発企画についても継続して実施しているほか、環境関連団体等への参加も積極的に行っている。さらに、建設当初から多様な生き物が訪れる環境づくりを継続的に実施しており、結果として環境省より「自然共生サイト」の認定を受けた。これらの取り組みは高く評価できる。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	・館内外各所照明のLED化 ・ロードヒーティングの温水温度設定の変更による設備運転の改善 ・ロードヒーティング稼動エリアの削減 ・WEB燃料管理サイトを活用した車両の燃費管理 ・一般照明のエリア及び点灯時間の見直し ・敷地閉門時間を一部早めることによる屋外照明の早期消灯 ・節電のため、諸室やバックヤードの照明スイッチ付近に「こまめに節電」掲出 ＜循環型社会に向けた取り組み＞ [目標]廃棄物の削減と資源循環の削減 一般ごみを2016年度より40%削減 (目標年:2030年度) [結果] 一般ごみ排出量102.5t(前年159.8t、前年対比36.0%増加、基準年対比52.0%削減) [取り組み] ・リサイクルポストで分別回収の呼びかけによるイベント時のごみ分別回収の推進 ・リサイクルポストの英語表記などで、海外からの来場者様へごみ分別の協力を案内 ・コンサドーレ戦時のごみ排出データを算出、コンサドーレ様へ共有 ・コンサドーレ様と連携し、障がい者の就労支援として、リサイクルポストでの分別案内を障がい者の方が行うためのごみ分別とごみ袋掛けの事前レクチャーを実施 ・廃材の再利用 ・売れ残り弁当を分別廃棄し、食べ残しや弁当外箱・わり箸・箸袋等をリサイクル ・委託事業者と協働した事業系ごみの分別推進 ・弁当容器にリサイクルシールを貼付 ・植栽の剪定枝や添え木などをリサイクル ・蛍光灯、乾電池、金属くず、木製パレットなどのリサイクル化 ・来場者弁当の適正発注によるロス率抑制 ・コンサドーレ様と連携し、ペットボトルキャップを回収する取り組みを実施 ＜生物多様性の保全と環境啓発活動の推進＞ [目標1]生物多様性の保全 ※環境数値目標は設定しない。 [取り組み] ・年2回の草地の刈込み、植栽の剪定や補植、冬囲いなどによる適切な緑地管理 ・高茎草地を好む鳥を誘うために、あえて草を刈らない高茎草地エリアを用意	ハイブリット芝導入により芝ごみがリサイクル(堆肥化)できなくなり、2021年6月以降一般ごみとして焼却または埋立処分しているため、2016年度より一般ごみにおける芝ごみの量は増加している。しかしながらプロ野球の開催がなくなり、イベント来場者数が減少したことで、一般ごみの総排出量は減少した。2024年度から57.3t減少しているのは、2024年9月に実施したホヴァリングサッカーステージの芝の大規模張替による芝ごみの排出が、2025年度は発生しなかったため。一般ごみ・張替以外の芝ごみの数量は2024年度からほぼ横ばいで推移している。 ・社員による大和ハウス プレミストドーム周辺のごみ拾い活動「クリーンアップ作戦」を平成24年から継続実施するなど、社員の環境意識啓発にも取り組んで	

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	・特定外来生物「オオハンゴンソウ」の駆除 ・危険な生態系被害防止外来種「アメリカオニアザミ」の駆除 [目標2]環境啓発活動の推進 ※環境数値目標は設定しない。 [取り組み] ・ドームツアーにおけるリサイクルポスの紹介 ドームツアーにご参加されたお客さまに、リサイクルポスによるごみ分別の取り組みについて紹介。 ・ドームツアーメニュー「環境ECOツアー」の運用 中学年から高学年の小学校団体向けに札幌ドームのECO活動を中心にご案内するドームツアーコースを運用。 ・ネイチャーポジティブの取り組みに関するパネル展示 3階展望台、キッズパークへの通路に、自然の豊かさの減少を止め回復させる「ネイチャーポジティブ」視点の取り組みを紹介するパネルを展示。 ・コンサドーレ×大和ハウス プレミストドーム「野鳥観察会」を実施 コンサドーレ様と連携し、試合開催日に敷地内での野鳥観察会(5月6日、22名)及び生き物探検隊(昆虫採集・観察会/8月2日、29名)を実施。プレミストドームにおけるネイチャーポジティブへの取り組みも紹介した。 ・近隣小学校の校外学習の受け入れ 近隣小学校の地域を学ぶ教育の一環として、子どもたちが大和ハウス プレミストドーム敷地と展望台を遠足で訪れ、小学生全校児童が来場した。 (9月24日、福住小学校1～6年生 計612名) ・ノー残業デーの実施 月1回ノー残業デーを設け、事務所内の省エネルギーに努めた。 ・札幌ドームクリーンアップ作戦の実施 社員の環境意識の向上を図るとともに、地域社会への貢献活動として、大和ハウスプレミストドームの敷地内及び周辺道路の清掃活動を関係事業者様と連携して実施。 (6月3日、当社51名+コンサドーレ様27名、まちのミライ様3名、北海道シミズ様2名 計83名) ・イベントでの環境啓発ブースを出展 「環境広場さっぽろ2025」で当社の環境啓発ブースを出展し、SDGsクイズの実施やパネル掲出を行った(7月26日・27日) ・環境関連団体等への参加 「さっぽろエコメンバー(レベル3)」 「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」 「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度登録」 ・資源と環境保護のため、広報物に植物油インクを使用 ・節水のためにトイレに流水擬音装置を追加設置 ・敷地内樹木150本に「樹木プレート」設置(2019年度から	いる。 ・ウェブサイトやSNS等を通じ、環境啓発活動を社内外に向けて積極的に行った。 ・長年にわたる敷地内の緑地管理等の取り組みが結実し、「希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場としての価値」が認められ、2026年3月に環境省「自然共生サイト」に認定された。	

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	継続) ・「エコプレイヤーキッズ」「おさんぽMAP」リーフレット配布 ・SNSによる敷地内の魅力発信 当社公式Xにて、敷地内の風景や生息する生き物の紹介などを行い、当社の敷地環境の豊かさについて積極的に発信 ・節電のため、諸室やバックヤードの照明スイッチ付近に「こまめに節電」掲出 ・「自然共生サイト」認定(2026年3月/プレミストドームが「希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場としての価値」を有すると認定) ▽ 管理運営組織の確立 ▼責任者の配置 管理運営組織としての統括責任者を専務取締役、統括責任者の職務代理者を事業本部長(管理担当・事業担当)としている。 ▼組織の整備、従事者の確保・配置 4月: 人事異動を実施、1名採用 10月: 人事異動を実施、1名採用 11月: 人事異動を実施、1名採用 11月: 2名採用 1月: 人事異動を実施、1名採用 2月: 人事異動を実施、1名出向受け入れ 業務の効率化や部門間の連携強化を目的とした人事異動を行うとともに、事業拡大を見越した人材確保の観点などから、若手中途社員6名を採用したとともに、株式会社JTBから出向社員を1名受け入れた。 ▼人材育成を目的とした研修の実施・資格取得 ・中途社員6名のうち若手社員(2名)を対象に、内定者育成バックプレミアプランのe-ラーニング講座を実施した。 ・構内作業等に従事するため、社員5名がフォークリフト運転技能講習を受講した。 ▼事業に必要な業務にあわせた適正な人員配置に向けて、人事異動を行ってマネジメント体制を強化した。また、各部署にて必要なスキル・知識・姿勢を学ぶ機会を設けた。 ▼法令遵守・服務規律に係る研修の実施 ● 甲種防火管理・防災管理新規講習(新規・再講習)	・指定管理者として業務を効率的かつ安定した体制をもって行えるよう、全体の業務量及び質を考慮し、計画的かつ適正な人員配置・採用を行った。 ・人材育成においては、例年、年齢や役職に応じた研修とともに、適切な管理運営に向けて、都度必要となる内容を習得できる制度を整えている。 ・法令遵守に関する研修については、とりわけ、大	業務を効率的かつ安定して遂行できるよう、計画的かつ適正な人員配置が行われている。 研修については、業務に必要な研修のほか、全社員向けにコンプライアンスに関する研修を実施しており、指定管理者として法令順守のために必要な啓発が図られている。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	・対象者 : 社員4名(新規3名) ・実施内容: 消防法に基づく講習。防火管理の意義及び制度、火気管理、施設・設備の維持管理、防火管理に係る訓練及び教育、防火管理に係る消防計画等 ● 自衛消防訓練/消火訓練 ・7月8日 ①自衛消防訓練 ②消火訓練 当社社員及び委託事業者 計60名参加 ・12月4日 ①自衛消防訓練 ②消火訓練 当社社員及び委託事業者 計82名参加 ● 普通救命講習(AED講習) ①応急手当WEB講習 ・11月9日 2名 ・11月21日 1名 ・1月14日 1名 ②「実技」付き講習 ・7月29日 2名(札幌市防火管理者協会主催) ・8月22日 2名(札幌危険物安全協会主催) ● 自衛消防業務新規講習・再講習 ・6月17日 1名 ・7月23日 1名 ● 防火・防災社内講習会 ・対象者 : 全社員 ・実施内容: 北海道胆振東部地震を体験して ほか ● 安全運転管理者等講習 ・対象者 : 社員1名 ・実施内容: 道路交通法に基づく講習。自動車および道路の交通に関する法令の知識、自動車の安全な運転に必要な知識、自動車および運転者に対する交通安全教育に必要な知識・技能、安全運転管理に必要な知識・技能等 ● 食品衛生講習会 ・対象者: 事業開発一課社員及び売店事業者 ・実施内容: 食品衛生に対する意識向上と注意事項について 8月27日売店拭き取り検査結果を受け9月16日に実施 2月20日売店拭き取り検査結果を受け4月23日に実施 ● コンプライアンス研修(全社員向け) ・実施内容: 生成AI活用のリスクについて ● コンプライアンス教育研修(新人社員研修) ・対象者: キャリア採用における新人社員 2025 年4月1日～30日 : 設備課キャリア採用1名 2025 年10月1日～31日 : 営業一課キャリア採用1名 2025 年11月1日～30日 : 営業二課、営業三課キャリア採用2名 2026 年1月5日～31日 : 施設管理課キャリア採用1名	規模集客施設の管理者として、安全に関する項目に重きを置きをおいて計画・実施している。防火防災については、札幌ドーム消防計画の第4章教育訓練に定め、適宜講習会に参加させているほか、全社員に対して研修を行い、防災意識を高めている。	

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	▽ 管理水準の維持向上に向けた取組(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) ▼独自のクレームマネジメント体制の強化 お客さまの声を貴重な財産と考え、寄せられたご意見は電子化して全社員に配信し、検討が必要なものは会議や担当部署にて改善に向けた議論を重ねた。すぐに解決できないご要望は、中長期的な課題として共有し、継続的な調査・検討を行っている。 ▼来場者サービスの向上のための取り組み ・観光事業においては、日々の業務に際して朝礼等でスタッフへの接客・接遇の徹底と意識向上に努めている。また入社時には接客マニュアルにてスタッフ研修を行っている。 ・飲食売店に従事する全スタッフに対して、館内案内図や衛生管理、緊急時の行動について記載したハンドブックを制作して配布した。 ・衛生講習会の実施 全飲食委託事業者を対象として、外部コンサルタントによる売店内設備衛生検査と販売商品衛生検査を年2回実施。また同検査結果をもとにした講習会を実施し、食中毒予防や衛生環境の向上に努めた。 ▼事業本部会議の開催 部長職以上の社員によって構成される「事業本部会議」を定期的に開催し、検討事項の議論や、情報共有を行うことで、組織としての意思を統一し、安定した組織運営・施設管理を実施した。 ▽ 第三者に対する委託業務等の監理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) ▼業務計画に基づく第三者への委託業務等の実施 ・委託事業者から提出される業務報告書を基に、適正に業務遂行されているかの確認を行った。 ・工事、資産購入等の発注業務においては、経理部門による業務完了検査を実施した。 ・お客さまからのご意見、ご要望を該当する委託事業者に迅速にフィードバックし、必要に応じて指導・改善を行った。	・独自のクレームマネジメントシステムを活用し、お客さまからのご意見、ご要望に対する対応方針を決定して、社内にフィードバックする体制を確立し、内容によっては主催者や委託事業者に戻すなど、ご要望を形にすることでお客さまサービスの充実を図った。 ・直接お客様と接するスタッフには、営業前の朝礼などの場面において、日々、接客・接遇の徹底と意識向上を行っている。 ・大型施設における飲食サービス提供の根幹となる安心、安全性を担保すべく、食中毒予防や衛生環境への意識維持に努めた。 ・再委託を行う際は、当社契約規則等に基づき、適正な契約事務を実施した。 ・業務の遂行にあたっては、高水準な業務レベルが維持できるよう業務内容を明確にするとともに、適正に	利用者から寄せられた意見・要望について、定期的な事業本部会議の実施等により、社内での情報共有が適切に行われており、必要に応じた業務見直し等が図られている。 また、衛生環境の向上のため、全飲食委託事業者向けに外部コンサルタントによる衛生検査・講習会を複数回実施し、来場者の安全確保に努めている。 第三者に委託している業務について、業務報告書の確認等により適切に管理監督・履行確認を行っている。 また、業務の実施状況について、再委託している業務についても利用者サービスの向上の観点をもって実施さ

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)										
	▼暴力団員又は暴力団関係事業者の排除 札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、暴力団員または暴力団関係事業者が契約行為の相手方とならないよう、適切な事務処理を行った。 また、既に締結している契約の相手方が暴力団員または暴力団関係事業者であると判明した場合や不当要求を受けた場合などに備え、顧問弁護士などの専門家に必要な助言を受け、適切に対処できる体制を整えた。 ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) ▼運営協議会の開催 利用者団体と外部有識者等による運営協議会を3か月に一度開催し、札幌ドームの管理水準の維持向上に向けて意見をいただくとともに、連携施策実施について協議を行った。 <table><tr><th>開催回</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>第1回 8月5日</td><td>・大和ハウス プレミストドーム前年度事業報告について ・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況報告について ・今後の活動計画について ・その他ご意見ご要望について</td></tr><tr><td>第2回 10月27日</td><td>・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況等の報告 ・JALさっぽろスノースポーツパーク2026における連携行事について ・株式会社コンサドーレ様との地域連携施策について ・その他ご意見、ご要望について</td></tr><tr><td>第3回 1月20日</td><td>・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況等の報告 ・JALさっぽろスノースポーツパーク2026関連の進捗状況について ・株式会社コンサドーレ様との地域連携施策について ・その他ご意見、ご要望について</td></tr><tr><td>第4回 3月17日</td><td>・JALさっぽろスノースポーツパーク2026実施報告について ・大和ハウス プレミストドームのイベント開催状況について ・株式会社コンサドーレ札幌様との地域連携施策のご報告について ・次年度の運営協議会について ・その他ご意見、ご要望について</td></tr></table>	開催回	協議・報告内容	第1回 8月5日	・大和ハウス プレミストドーム前年度事業報告について ・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況報告について ・今後の活動計画について ・その他ご意見ご要望について	第2回 10月27日	・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況等の報告 ・JALさっぽろスノースポーツパーク2026における連携行事について ・株式会社コンサドーレ様との地域連携施策について ・その他ご意見、ご要望について	第3回 1月20日	・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況等の報告 ・JALさっぽろスノースポーツパーク2026関連の進捗状況について ・株式会社コンサドーレ様との地域連携施策について ・その他ご意見、ご要望について	第4回 3月17日	・JALさっぽろスノースポーツパーク2026実施報告について ・大和ハウス プレミストドームのイベント開催状況について ・株式会社コンサドーレ札幌様との地域連携施策のご報告について ・次年度の運営協議会について ・その他ご意見、ご要望について	履行されているか 随時検査・確認を行い、必要に応じて適切な指導を行うことで、お客さまの安全・安心に努めた。 福住地区、東月寒地区両町内会、株式会社コンサドーレ様との運営協議会を年度内4回開催した。 施設運営に関する貴重なご意見を受け止める機会となったこと及び両町内会との連携強化をより一層図ることができた。	れている。 近隣の町内会、プロスポーツチームを含めた運営協議会を定期的(3か月に1回)に開催し、本市との情報共有を適切に実施している。
開催回	協議・報告内容												
第1回 8月5日	・大和ハウス プレミストドーム前年度事業報告について ・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況報告について ・今後の活動計画について ・その他ご意見ご要望について												
第2回 10月27日	・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況等の報告 ・JALさっぽろスノースポーツパーク2026における連携行事について ・株式会社コンサドーレ様との地域連携施策について ・その他ご意見、ご要望について												
第3回 1月20日	・大和ハウス プレミストドーム今年度イベント開催状況等の報告 ・JALさっぽろスノースポーツパーク2026関連の進捗状況について ・株式会社コンサドーレ様との地域連携施策について ・その他ご意見、ご要望について												
第4回 3月17日	・JALさっぽろスノースポーツパーク2026実施報告について ・大和ハウス プレミストドームのイベント開催状況について ・株式会社コンサドーレ札幌様との地域連携施策のご報告について ・次年度の運営協議会について ・その他ご意見、ご要望について												

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	＜協議会メンバー＞ 福住地区町内会連合会会長、福住地区まちづくり協議会代表・副代表・社会連携部門連係統括チーム長、東月寒地区町内会連合会会長、東月寒地区まちづくり協議会「童夢」会長、豊平区福住まちづくりセンター所長、豊平区東月寒まちづくりセンター所長、札幌市スポーツ局スポーツ部長、株式会社コンサドーレ経営管理部長、興行事業部長、経営管理部企画戦略グループ社会連携担当リーダー、株式会社札幌ドーム総務部長・総務部総務課長		
	▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▼資金管理については、月毎の予算実績管理を実施し、経営幹部へ情報共有を行うとともに、監査法人による外部会計監査及び税理士による税務監査を実施している。 ▼当社現金取扱要領に基づき現金管理を行っている。 ▼警送会社との契約により、現金入金機を設置し、当社自身が扱う現金を圧縮している。 ▼「インボイス制度」に対応するため、請求書や領収証等の様式変更を行うとともに、必要なシステム改修を実施し、適正運用に努めている。	・監査法人による会計監査を年3回、税理士による税務監査を年12回実施し、適正な会計処理がなされていることを外部監査により確認している。	外部会計監査や税理士による税務調査を実施しており、適正な会計処理に努めている。 現金の取扱いについては、関係規定を整備し、その規定に基づき適正に管理している。
	▽ 要望・苦情対応 ▼独自のクレームマネジメント体制の強化 クレームマネジメントシステムを導入し、お客さまのご意見・ご要望に対する対応方針を決定して、社内にフィードバックする体制を確立している。 ▼一般のお客さまからのご意見・ご要望に関しては、コールセンターや、館内に設置している「コミュニケーションコーナー(ご意見箱)」、「ウェブサイト(Eメール)」等より積極的に収集しホスピタリティーのさらなる充実に努めた。また、お客さまからの意見をイベント主催者からのご意見・ご要望と合わせて、可能な限り対応し、双方向コミュニケーションに努めている。 ※コールセンター入電数 12,481件 (前期比:526件増) ※コミュニケーションご意見枚数19枚 (前期比:10枚減) ※メール 1,171件 (前期比:324件増) ※セールスメール除く	・一般のお客さまからのご意見・ご要望を積極的に収集し、ホスピタリティーの更なる充実に努めた。	多種多様な方法により利用者の意見・要望の収集に努め、必要な記録・整理・分析を行っている。 また、意見・要望に対する対応結果等については、ホームページウェブサイトなどを使用し、広く公表している点を高く評価する。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	▼コミュニケーションコーナーに寄せられたご意見に対して、回答文書を作成し、コミュニケーションコーナーに掲示した。 ▼ご意見・ご要望の改善事例については、「施設・サービス改善」というウェブコンテンツを作成し、広報している。 ▼コールセンター、ウェブサイトでのご意見・ご要望を貴市に月次報告している。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼管理運営業務仕様書に定める帳簿等を常に整備し、これらを5年間保管書類として管理している。 ▼管理運営業務協定書に定める各報告書類を適切に貴市に提出した。 ▼貴市の検査・確認・要請に対し、誠実に対応した。 ▼インターネットアンケートの実施 ・2012年度からの継続的な取り組みとしてインターネットアンケート「オンラインリサーチ」を実施した。アンケート結果とご意見等に対する当社の考え方については、当社ウェブサイトに掲載している。 ＜オンラインリサーチ実施方法＞ 大和ハウス プレミストームWEBサイト内のオンラインリサーチ回答ページにアクセスいただく形で、誰でも回答可能なオープン型のアンケートを1回実施した。 ※大和ハウス プレミストームへのご来場経験が無い方も回答は可能。 ※回答は1人1回まで。 ＜オンラインリサーチ実施結果＞ ・テーマ:「施設サービス、施設活用、愛称、情報発信等」 ・実施期間:12/11～25 ・回答者数:1,314人	・管理運営業務に係る記録・帳簿等を適切に作成・管理し、その情報を的確に分析することにより、管理運営状況を常に把握し最善の対応を実現できるよう努めた。 また、これらの記録・帳簿をもとに管理運営状況の報告書を作成し、定期的に貴市へ提出するとともに、随時連絡・報告が必要なものについては遅滞なく情報を共有した。 ・2012度からの継続的な取り組みとしてインターネットアンケート「オンラインリサーチ」を実施した。 ・令和5年度からは実施していた、モニター方式から誰でもアクセス可能なアンケートフォームでの回答方式へ変更し、様々な属性のお客様からの幅広いご意見を収集している。	必要な記録・帳簿等を整備し、適切に保管している。 これまで実施してきたオンラインリサーチについては、誰でも回答可能なWEBからのアンケートで意見を募る方法で実施し、幅広く利用者意見を収集することで、サービスの更なる改善に努めている。 また、報告書類は適切に提出されており、本市の検査等に対しても誠実に対応している。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	・回答結果 【施設サービス】 ・魅力を感じる施設は「展望台」が一番多く選択された。 ・清掃・衛生状態は「いつも清潔に保たれていると感じる」が一番多く選択された。 ・優先的に取り組んでほしいものとしては「飲食メニューのジャンル・種類が増える」が一番多く選択された。 ・自由回答ではバリアフリー、アクセス、飲食サービス等に関するご意見が寄せられた。 【施設活用】 ・魅力を感じるイベントとしては、コンサートが最も多く挙げられ、次いで北海道コンサドーレ札幌戦が挙げられた。スポーツイベントではプロアマ問わずサッカー、ラグビー、野球などが多く挙げられており、スポーツでの活用の魅力を感じている市民・道民が多かった。その他、市民参加型イベント、展示会などの多種多様なイベントも挙げられた。 ・全天候型であるなどの施設の特長を踏まえた施設活用の提案や、アウトドア体験など家族で参加できる活用案などが寄せられた。 【新社長就任】 ・新社長の就任を「知っている」という回答者が58.2%であった。 ・新社長の就任を「知っている」という回答者のうち、新聞・テレビで知ったと回答した人が多数を占めた。 ・新たな経営体制となった大和ハウス プレミストドームに期待していることとして、「大和ハウス プレミストドームの新たな活用策」「地域活性化につながる大きなイベントの誘致」「大和ハウス プレミストドームの経営安定化」が多く挙げられた。 【愛称】 ・「愛称を知っている」という回答者が87.2%で多数を占めたが愛称を知っている回答者のうち「使用している」と回答したのは41.1%と半数を割っている。 ・愛称浸透のためのアイデアも寄せられた。 【情報発信】 ・Xを使用している回答者のうち、65.1%が当社アカウントをフォローしていない結果となった。 ・Instagramを使用している回答者のうち、75.5%と4分の3以上が当社アカウントをフォローしていない結果となった。 ・1年間で大和ハウス プレミストドームの情報を見た覚えのある媒体が無い回答者が全体の10.2%であった。		

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)								
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼時間外労働又は休日労働の規定については、書面による労使協定(36協定)を締結し、労働基準監督署に届出を行った。 ▼当社アルバイト社員について、北海道の最低賃金1,075円(2025年10月4日発効)を遵守し支給した。 ▼当社社員を時間外労働・休日労働及び深夜業務させた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ▼当社社員が労災保険に、条件を満たす社員が雇用保険に加入している。これに加えて、労災を被った場合の上積み補償として、社員に対する傷害保険にも加入している。 ▼社員の勤務形態、家族状況等に応じて社会保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出を行った。 ▼より働きやすい職場づくりの推進を目的として、一般事業主行動計画の策定を行った。目標としている休暇取得率については、リフレッシュ休暇5日取得98%、年次有給休暇取得率58%達成となった。 ▼健康診断を1年に1回実施し、結果を労働基準監督署に提出した。 法定健康診断に加え、年齢に応じて検査項目を追加しているほか、女性社員を対象とした婦人科健診も費用を負担し実施した。 ▼労働安全衛生法及び当社安全衛生規程に基づき、社員の安全と健康の確保、災害・事故の未然防止及び快適な職場環境の形成のため、月1回衛生委員会(構成員7名、うち1名は産業医、うち1名は衛生管理者の有資格者)を開催した。 [衛生委員会の主な取り組みや議題] ・ノー残業デー対象日の設定 ・年休の取得促進、業務平準化による残業低減の検討 ・ストレスチェック集団分析 ・熱中症対策 ・夏の食中毒 ・価値のある雑談 ・アサーティブコミュニケーション ・アンガーマネジメント ・花粉症対策 など	・社員の労働条件については、必要に応じ、顧問契約を締結している社会保険労務士・弁護士、業務委託契約を締結している産業医の助言を受け、労働関係法令を遵守するとともに、当社就業規則やその他必要な規則・制度を適正に整備し、雇用環境の維持向上に努めた。 ・社員の労働環境については、勤務時間、休日・休暇、賃金等の勤務条件について、労働基準法及び当社就業規則等を遵守し、良好な労働環境を確保したほか、社員に対しメンタルヘルスチェックを行い、臨床心理士など有資格者に相談できるサービスを継続運用するなど、職場環境のさらなる健全化に努めた。 今年度より産業医派遣会社を更新し、これまで当社社員の出席だけであつた衛生委員会において、隔月で産業医にお越しいただき当社の衛生管理状況の確認・助言をいただいたほか、季節に応じた講話を提供いただいた。 月1回であつたノー残業デーを、今年	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 労働関係法令は遵守され、産業医派遣を伴う衛生委員会を隔月で開催するなど、雇用環境の維持向上に資する体制づくりに積極的に取り組んでおり、要求水準を達成していることから『B』評価とする。	A	B	C	D				
A	B	C	D								

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)				
	▼「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認証企業(ステップ1)」として、「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus取組確認シート」に基づき、ワーク・ライフ・バランスの実現のための様々な取り組みを進めた。 令和7年度については育児休業を取得した社員は0名であったが、休業中の適切な対応と職場復帰に向けた環境整備に引き続き努めている。 ▼メンタルヘルスチェックを実施した。 ▼働きやすい環境を推進するため、業務に支障のない範囲において、社員各人の生活スタイルにあわせた時差出勤制度及び在宅勤務制度を継続した。 ▼弁護士、社会保険労務士と顧問契約を継続した。 新たな産業医派遣会社と業務委託契約を締結し、産業医に当社の衛生委員会に出席いただいた。 ▼当社内部統制システムに関する基本方針に基づく活動を実施した。 5月：第16回コンプライアンス委員会開催 ※ コンプライアンス推進会議(年4回実施) (5月、9月、11月、2月) 7月：第14回リスクマネジメント委員会開催 ※内部統制システムに係る研修(コンプライアンス集合研修)の実施状況は、「(1)統括管理業務▽管理運営組織の確立(責任者の配置、組織の整備、従事者の確保・配置、人材育成)」に記載。	度より月2回とした。 ・当社内部統制システムに関する基本方針に基づき、各種活動により、社員のコンプライアンス意識の向上を図った。					
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼館内設備の点検を定期的に行い、故障等があれば直ちに修繕を行うことで設備の安全を維持している。	・開業後20年以上が経過して設備の老朽化が目立つ中、適切に管理して安全を維持できている。 ・新型コロナウイルス感染症の5類移行により、対策は縮小させたが、出入口やトイレ周辺等での一般的な感染症対策は継続し、来場者が選択的に予防対策を実施することができる安心安全な環境を整備している。	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> 全ての要求水準を達成していることから、『B』評価とする。 なお、小項目別の評価は以下のとおり。 利用者の安全確保や、緊急連絡網の整備など必要な連絡体制の構築などを適切に実施している。	A	B	C	D
A	B	C	D				

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	▼自衛消防組織、緊急連絡網を形成し、有事の際にお客さまの安全を守る体制を整えている。なお、組織改編や人事異動などに伴って随時見直しを行い、適切に運用できるように整備している。 ▼ドクターヘリ用ヘリポートについて消防等と密に連携を取っている。 緊急時に備え、日常的なドクターヘリ受入れ用ヘリポートの維持管理を適切に行っている。 ヘリポートとして、第二駐車場ヘリポート(主)と天然芝練習場ヘリポート(副)の2か所を用意している。 緊急時には関係機関(消防・イベント主催者など)と連携し、電話の受信から、受入れ準備、消防車両・救急車の誘導やスムーズな搬送が行えるよう連携をしている。 毎月、ヘリポートスケジュールを作成し、豊平消防署をはじめ、社内関係部署、コールセンター、防災センター、駐車場スタッフ等と共有することにより、迅速な対応を可能にしている。ヘリポートスケジュールには、使用可否、受入れ可能なヘリポート、イベントの開催時間等を記載している。 ヘリポート図面を刷新し、消防・警察と改めて共有した。 ▼2022年4月からの道路交通法施行規則改正に基づき、社用車(及び自家用車の社用使用)を運転する場合、運転手のアルコールチェック、酒気帯び状態を確認し、記録簿を作成、保管している。 また、運転前後における検知器を使用した酒気帯び確認(アルコールチェック)は、2023年12月に義務化されたが、それ以前の2022年7月から、検知器を使用して酒気帯び確認を実施している。 なお、当社の車両を使用する委託事業者にも適用させ、安全運転管理者が確認をしている。 ▼拾得物は法令に基づき管理しており、日毎に台帳に記載し、1週間以内に豊平警察署に届け出を行っている。 ・遺失者からの問合せには、コールセンターなどで迅速な対応ができる体制を整えている。引渡しは、守衛所で遺失物受領書を記入してもらい、適正に行っている。 ・貴重品は金庫で厳重に保管し、遺失者の本人確認等必要な確認を厳重に行ったうえで、慎重に引き渡しを行っている。 ・イベント時の拾得物は、イベント開催中は主催者で管理し、イベント終了後に、現物と拾得物リストが当社に引き渡される仕組みとなっている。翌日以降、コールセンター等での問合せに対応している。 ▼独自のクレームマネジメントシステムを整備し、お客さまからのご意見、ご要望に対して迅速かつ適切に対応する体制を整備している。	・お客さまの安全確保を第一に自衛消防組織、緊急連絡網を形成しており、有事の際お客さまを迅速かつ安全なご案内ができる体制を整備している。 ・ヘリポートの維持管理も適切に実施し、ドクターヘリを迅速に受入れ・搬送できる体制を整えている。 ・日々の点検、毎月の確認とも、問題なく実施できている。	

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	▼損害賠償保険は仕様に適合したものに継続加入している。 ▼2023年5月以降の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、一般的な感染症対策として以下の対応を実施した。 〈継続実施〉 ・主催者と連携し各ゲートやトイレ・子供向け施設付近など留意すべき箇所への消毒液の設置とその盗難対策の実施。 ・全トイレへの手洗い石鹸設置。全個室室内への便座除菌クリーナー設置 ・トイレ内のハンドドライヤー使用と清潔さの維持 ・来場者用トイレへの「手洗い、咳エチケット推奨」告知掲出 ・来場者用男性トイレへの「手洗い推奨」告知掲出 ・来館者・飲食事業者向けに、守衛所付近への手指消毒液の設置(随時使用) ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼清掃、常駐警備、施設管理業務、駐車場管理については業務計画に基づいた内容で第三者への委託により実施している。 ・日常清掃・イベント準備清掃・イベント清掃・特別清掃と区分し、汚れ具合・清掃エリア・頻度・タイミングを十分考慮したうえで、広い施設を効率的に清掃して来た。 ・日常清掃における清掃箇所・頻度・回数の内容見直し等により、物価・人件費が上昇する社会情勢の中でも、委託費上昇幅の抑制に努めた。 ・展望台エリアで、小型ロボット掃除機を導入し、人力による清掃作業を削減し、日常清掃費の低減に努めている。 ・清掃消耗品の購入先を見直し、費用の低減に引き続き努めている。 ・監視カメラや機械警備設備を活用し、広い敷地内を効率的に監視、警戒するとともに、館内及び館外の巡回を定期的実施し、敷地内の保全に努めている。 売り子販売の廃止に伴い使用頻度の低くなったバイトロ閉鎖により、さらなるコスト削減に努めている。 ・機械警備の契約内容を見直し、統合や解約をすすめ、セキュリティを保ちつつ月額費用の削減を実現した。 ・駐輪場に残された自転車は、毎月曜日に確認し、「放置自転車報告書」を作成、記録している。貼紙掲出後、一定期間経過後引取り手が現れない場合には、警察への問合せを行ったうえで、適切に廃棄処分をしている。 ・通常営業日(イベントのない日)における一般駐車場は、機械化による無人精算により、駐車場係員の人件費削減など合理化を実施した。イベント日の一般駐車場や関係者駐車場は有人での運営を継続し、スムーズな案内誘導	▼出入口やトイレ周辺等での一般的な感染症対策は継続し、来場者や来館者、関係者が選択的に予防対策を実施することができる安心安全な環境を継続維持している。 ・清掃、警備、施設設備運転管理、保守点検ともに業務計画のとおり実施し、施設設備の適正な維持管理を行った。 ・清掃スタッフの手による清拭、搭乗式床洗浄機による広範囲な床面清掃など、素材や場所に適した、施設を大切に丁寧な清掃を心掛けており、来場者や視察者から開業後20年経過しても施設がきれいであるという評価を受けることが多い。	施設・整備等の維持に関する業務については、定期的な設備点検を実施し、故障等が発見された場合には速やかに対応するなど、施設の安全確保に向け適切に実施している。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	・ホスピタリティ維持・安全確保に努めた。 ・「AED日常点検チェックリスト」により毎日AEDのインジケータの点検をするなど、常に適切に使用できる状態の維持に努めている。 ・AEDの電極パッドを使用期限に基づいて7月(6個)、9月(8個)、1月(13個)交換した。 ▼外構管理、コンパウンドアート管理、除排雪は当社社員及び再委託により適宜実施している。 ・外構管理は草花の開花時期を考慮して下草刈りの時期を決めている。樹木は歩行者や車両等の安全を第一とした駐車場エリアと草花や樹木を楽しむボタニカルエリアでは剪定頻度や剪定強度を変えて、メリハリのある樹木管理を実施している。 ・除排雪は歩行者や車両等の安全を第一に考えた体制で実施しており、特にイベント日は除雪作業のほかに凍結防止剤やすべり止め砂の散布などを実施し、来場者の転倒事故防止に努めた。 ・カラスの巣やスズメバチの巣を発見した場合、必要に応じて、専門業者に依頼し、適切に除去、安全安心な施設環境維持に努めている。敷地内樹木にスズメバチの女王バチ誘因装置を設置し、巣づくりを事前に食い止める取組みを実施した。 ・コンパウンドアートは、毎月1回清掃点検を実施している(冬季閉鎖箇所は除く)。汚れや破損等が発見された場合は、適切に清掃、修繕を行っている。積雪前には一部の屋外作品については冬囲いを実施し、雪害や除雪車による影響から作品を守っている。 ▼修繕は年度計画を貴市に提出し承認後実施した。その他、急を要する修繕については対応後貴市に報告している。 ※修繕等件数 78件 / 実施金額 13,532千円 ▽ 防災 ▼札幌ドーム消防計画に基づき、防火・防災管理業務を実施している。 ・組織変更に伴い、自衛消防隊編成を修正するなど、必要に応じて、消防計画を見直している。 ・防火・防災管理新規講習(新入社員教育)3名受講した。	・外構管理、コンパウンドアート管理、除排雪は業務ごとに当社社員または第三者委託により適切に実施できた。特に敷地内の除排雪は積雪期におけるイベント運営に支障をきたすことのないよう十分留意して実施した。 ・札幌ドーム保全計画に係る工事については、現在の施設・設備の劣化度状況を正確に把握し、イベント開催に影響が無いよう最適な保全計画(貴市ご発注分)の遂行に貢献した。 ・適宜修繕を行った。 ・防災業務では委託事業者の協力のもと、防災・消火訓練を実施し、危機管理意識の向上に努めた。	防災訓練について、必要に応じて主な施設利用者や委託業者を交えて実施しており、防災体制の確立に努めている。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)								
	▼以下のとおり防災訓練・自衛消防訓練を実施した。 2025年の自衛消防訓練は、7月8日を「非イベント日想定」、12月4日を「イベント日(自主イベント/モノヴィレージ)想定」として実施した。 7月の訓練はシナリオ進行表の記載を最小限にし、より実際の状況に近いかたちで訓練を実施した。また、屋内消火栓を使用した消火訓練を実施し、使用方法の確認を行った。 12月の訓練は、北海道シミズ様、TVh様等にも参加いただき、イベント運営本部と自衛消防隊との連携や各スタッフの役割分担、避難ルートの指示等、非イベント日とは違う動きについて確認した。消火訓練は、消火器の使用方法的説明および水消火器を使って放水する実技訓練を実施した。 2025年11月に、コンサドーレ様との合同防災訓練開催に向けて、施設部と営業部で社内打合せを実施した。12月に営業部営業一課からコンサドーレ様に対して提案を行い、机上訓練開催に向けて前向きな回答を得られた。 2026年3月10日、コンサとのキックオフミーティングを開催し、今後の机上訓練実施に向けた合意を得た。Jリーグ春秋制開幕前に第1回目の机上訓練が実施できるよう、準備を進める。 ▼大規模地震等発生時に必要になると想定される情報を常に携帯できる名刺サイズの折りたたみ型カード「札幌ドーム防災カード」を作成して、社員、アルバイト、委託事業者などの関係者へ配布している。 ▼「防火対象物・防災管理点検報告特例認定」 札幌市豊平消防署より、防火防災管理の状況が優良なものとして、「防火・防災優良認定証」の交付を受けている ▼地震発生時に備えて以下の対策を継続して行っている。 ・防火・防災に関する社内講習会を実施し、社員の防災意識の向上を図っている。3月に「危機管理マニュアルの更新・緊急地震速報、全国瞬時警報システムについて・爆破予告対応・不審物検索」について、資料配信により代替え実施した。 ・災害用備蓄品の適正な管理(4月・10月年2回点検/数量・賞味期限管理等)を実施した。										
(4)事業の計画・実施業務	▽ 周辺環境(迷惑駐車防止等)に関する業務 ▼イベント開催時の配慮 ・イベントカレンダーの配布等でイベント開催を周知するとともに、当社指定業者による外周警備により交通面・環境面で近隣に迷惑がかからないよう尽力した。 ・コンサートイベント開催時は近隣への迷惑駐車防止のため、営業部署や主催者と連携し、WEBサイトに迷惑駐車禁止に関する新着情報を掲載した。	・周辺環境に関する業務は計画どおり実施。運営協議会等を通じ、地元町内会との日々の情報交換をより密にとり、連携をさらに深めることができた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">全ての要求水準を達成していることから、『B』評価とする。 なお、小項目別の評価は以下のとおり。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	全ての要求水準を達成していることから、『B』評価とする。 なお、小項目別の評価は以下のとおり。			
A	B	C	D								
全ての要求水準を達成していることから、『B』評価とする。 なお、小項目別の評価は以下のとおり。											

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	▼地元町内会活動等への参加 ・地元町内会等が主催する「花ランド事業」「清掃活動」「各種会合」に参加した。 ・福住地区街づくり協議会 5月17日花植え 5名参加 ・福住地区町内会連合会 5月24日花植え 5名参加 ・冬の交通安全市民総ぐるみ運動街頭啓発 2名参加 ・福住地区町内会連合会新年交礼会 2名参加 ・東月寒地区町内会連合会新年交礼会 2名参加 ・東月寒まちづくり協議会「童夢」の活動については、交通安全街頭啓発活動への参加(50名)や「東月寒セーフティーフェスタ2025」への開催場所の提供とスタッフとしての参加を通じ、地域との円滑な関係を維持することに努めた。 ・福住まちづくり協議会による「スポーツの秋！体験フェスタ」スポーツ体験ブースにてスタッフとしてお手伝い ・「さぽーとほっと基金」に寄付を行い、札幌ドーム周辺でまちづくり活動をすすめる町内会や東月寒まちづくり協議会「童夢」などに協力した。 ▼地元町内会との連携施策の実施 JAL SAPPORO SNOW SPORTS PARKにおいて、イグルー及び雪像を協同制作した。 ▼冬期ボランティアサポートプログラムへの参加 北海道開発局主催の「冬期ボランティア・サポート・プログラム」へ参加し、近隣町内会等と協力して、国道36号歩道拡幅除雪やすべり止め砂撒き(地下鉄福住駅～大和ハウス プレミストーム間)を継続実施している。令和7年度は、砂撒き作業を計4回実施した。 ▽ 市民利用事業に関する業務 ▼市民利用事業として、クローズドアリーナ及び屋外サッカー練習場(天然芝1面・人工芝1面)、ブルペンを市民に貸出した。 トレーニングルームについては一部再委託により営業した。 ▼各種広報媒体の使用、また既存媒体のシステム、コンテンツ強化を図り、イベント情報や施設情報を、広く、分かりやすく市民へ提供した。 ▼クローズドアリーナ(草野球等) ・開放日数・枠数 [平日の開放日数・枠数]: 5日・20枠(前期比増減なし・		「周辺環境(迷惑駐車防止等)」に関する業務」の項目において、近隣の迷惑駐車防止の取組を継続実施するとともに、東月寒まちづくり協議会の活動に参加するなど地域との円滑な関係を維持することに努めている。 今後も、地域住民と顔の見える関係を構築する取り組みに期待する。 ・市民利用事業については、イベント開催日も含め可能な限りの営業日数・営業時間を確保し、スポーツやレクリエーションを楽しんでいただくとともに、トレーニングルームの運営により地域の方の体力の維持向上、健康増進に貢献した。 ・市民利用事業では、ブルペンの単独貸出もおこな

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	10枠減) [土日祝日の開放日数・枠数]:2日・9枠(前期比2日増・9枠増) ・利用日数 7日 (前期比:2日増) ・利用枠数 29枠 (前期比:1枠減) ・利用者数 1,090人 (前期比:398人増) ・利用者サービスの充実のため、スコアボードやワイヤレスマイクを使用したアリーナ内スピーカーの利用を安価なオプション料金にて提供した。 ・予約者を対象にした市民利用専用メールアドレスを確保し、利用申請から問合せまで、メールで対応できるようにした。また、WEBサイトから各種書類をダウンロードできるようにし、利用者の便宜性向上を図った。 ・予約者との連絡を密にし、利用者が気軽に相談できるよう務め、利用者の希望に沿った備品を的確に提案・準備した。 ▼クローズドアリーナ(ホヴァリングサッカーステージ利用) イベント都合により開放できず、利用実績はなし。 ▼Push&Run ・市民利用の一環として、アリーナ活用企画「Push & Run」をアリーナで2回開催した。 1回目 12月13日、14日 2回目 3月31日、4月1日 アリーナを二分し、スケートボードコースとランニングコースを設置した。老若男女問わず幅広い世代(ファミリー含む)のスケーターやランナーの方々に楽しんで利用していただくことができた。 ▼ブルペン ・開放日数・枠数 84日・621枠(前期比4日減・112枠減) ・利用枠数 145枠(前期比11枠増) ・利用者数 824人(前期比122人減) ・ラプソード測定体験会を11月26日、27日に開催した。球質を分析し投球技術のレベルアップを図ることができ、参加者の競技レベルの向上やブルペン利用の認知度の向上に寄与した。 ▼サッカー練習場 ・開放日数、枠数 延べ(1面のみ)139日・673枠(前期比32日増・173枠増) ・利用枠数 384枠 (前期比:100枠増)	い、冬場のピッチング練習や打撃練習の機会や、モルックなどの野球以外のスポーツでも活動の場を提供することに寄与した。 ・「札幌市公共施設予約情報システム」で受付をおこなっている、屋外サッカー練習場、ブルペンの市民利用の料金徴収について、従来、利用当日に現地での現金集金をおこなっていたが、2026年4月利用分からコンビニエンスストアでの事前支払いを導入し、利用者の利便性向上と業務効率化を図った。 ブルペンにおいては、通常のブルペン開放に加えて、ラプソード測定体験会というあらたなコンテンツを実施し参加者の満足度向上を図るとともに、利用の幅を広げた。 サッカー練習場の開放日拡大に努めて、前年度よりも開放日と利用者	

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)								
	・利用者数 11,030人 (前期比:1,738人増) ・人工芝サッカー練習場の人工芝は昨年更新され、利用者の利便性や満足度を向上させた。 ・前期に続き熱中症の注意喚起を実施した。 ▼オープンアリーナ(ホヴァリングサッカーステージ) イベント都合により開放できず、利用実績はなし。 ▼トレーニングルーム ・利用者数 24,966人前期比:2,011人減) ※トレーニングルーム関連事業については「2自主事業 その他▽自主事業▼トレーニングルーム関連事業」を 参照。		数を増加することができ、利用者サービス・満足度向上を図った。								
(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等		北海道コンサドーレ札幌戦ではJ2リーグ17試合、J2・J3百年構想リーグ2試合、天皇杯1試合により計20日(前期比2日減)、その他プロスポーツはダーツ大会開催により1日(前期比3日減)、コンサートは6アーティストにより計11日(前期比5日増)、コンベンションは「The 62nd OSEAL FORUM in SAPPORO」や「Japan Mobility Show Sapporo 2026」などの開催により計26日(前期比4日減)、自主・共催イベントは「サッポロモノヴィレッジ」等により計16日(前期比6日増)、アマチュアスポーツ大会は計32日(前期比4日増)、その他「APEX LEGENDSTM GLOBAL SERIES YEAR 5 CHAMPIONSHIP」の4日などを含めた当事業年度のイ		A	B	C	D			
					全ての要求水準を満たし、「利用促進の取組」の項目については要求水準を超える取組が行われていることから、『A』評価とする。なお、小項目別の評価は以下のとおり。						
	イベント利用	R5実績			R6実績	R7実績					
		件数(件)			98	129	119				
		人数(人)			997,397	1,112,940	1,203,894				
	アリーナ(市民利用)	全体の稼働率(%)			62.6%	70.4%	71.0%				
		件数(件)			19	14	29				
		人数(人)			968	692	1,090				
	サッカー練習場	件数(件)			481	284	384				
		人数(人)			10,638	9,292	11,030				
	ブルペン	件数(件)			142	134	145				
		人数(人)			767	946	824				
	トレーニングルーム	件数(件)			-	-	-				
		人数(人)			25,969	26,977	24,966				
	展望台	件数(件)			-	-					
人数(人)		16,619	9,124								

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	▽ 不承認、取消し、減免、還付 ▼イベント利用 不承認0件、取消し(キャンセル)1件、減免119件、還付0件 ▼市民利用 草野球・サッカー練習場・ブルペン等 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件 トレーニングルーム 全額免除のべ1,840人(「身体障がい者手帳」「療育手帳」「精神障がい者保健福祉手帳」「いつくしみの手帳」「被爆者健康手帳」をお持ちの方) ▽ 利用促進の取組 ▼イベント利用については当社営業担当によるイベント誘致を行った。 ▼アマチュア大会の実施支援 貴市と締結した「札幌ドームにおけるアマチュアスポーツ大会開催支援の協定書」に基づき、11つのアマチュア大会(24日間)の実施について支援を行ったほか、当社独自のアマチュア大会開催支援を8日間行った。 ▼市民利用については、利用促進のため、1,426人(前期比+235人)のLINE公式アカウント友だち登録者に対し、野球・サッカー一般利用の受付情報を14回発信した。 ▽ イベントの実施支援に関する業務 ・イベントの開催にあたっては、主催者さまに対して、警備、案内誘導、来場者動線、照明、音響、映像面などについての適切なアドバイスを行うこと等により、円滑なイベント運営をサポートした。 ▽ 展望台の運営に関する業務 ▼イベント開催日も含め可能な限りの営業日数・営業時間を確保するとともに、札幌の観光拠点としての役割を果たすよう努めた。 ・海外観光客の利便性向上のため、プレミストームウェブサイトの外国語翻訳機能の継続、事業紹介パンフレットの刷新、総合案内のデジタルサイネージにて二か国語案	ベント利用日数は、前期を下回る合計119日(前期比10日減)となった。 ・利用の承認手続きや減免対応は、条例等の規定に基づき実施した。 ・主催者さまが円滑にイベントを実施できるよう、適切かつスムーズな運営サポートを実施したほか、当社の各種広報媒体や、「友の会組織(札幌ドームメンバーズクラブ)」を活用し、積極的なイベント告知を行い、主催者さまへのサポートを行った。 ・新コンサートモードでのイベント開催実現に向けて誘致に努めた。 ・国内ドームでは初めての展望台施設を活かすとともに、自主事業で行う「ドームツアー」と併せて、当社観光事業と位置付け、利用促進及びサービスの向上	利用の承認、不承認等の決定については、条例等の規定に基づき、適正に行われている。 アマチュアスポーツ大会開催支援について、本市との協定に基づくもののほか、独自に開催支援を行うことで、市民・道民が直接プレミストームを使用する機会を積極的に創出しており、スポーツの普及振興に寄与しているという点を高く評価する。 イベントの実施支援については、要求水準である主催者への運営サポートのほか、イベントの告知を行う等、積極的な支援策を講じており、大変評価できる。展望台について、できる限りの営業日数・営業時間を確保するだけでなく、展望台を活用した自主事業の企画

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)																
	内を実施。 ・旅行会社等とタイアップした各種割引サービスを継続実施。 ・さっぽろテレビ塔、さっぽろ羊ヶ丘展望台、北海道開拓の村、北海道博物館、大倉山展望台、札幌芸術の森、札幌市時計台、タワースリーエイトJRタワー展望台との相互割引を継続実施。 ・コンサドーレ様との連携強化を兼ねた集客施策として、クラブコンサドーレ会員向けの優待料金設定を行い、両社による告知展開を実施した。 ・展望台に記念品(キリンチャレンジカップ2011・2014、U-24日本代表戦2021、オールスター2013記念品等)を継続展示。 ・貴市施策のサッポロスマイル事業へ参加し、当社社員及び館内で働く委託事業者スタッフがスマイルバッジを着用しているほか、総合案内と展望台等にロゴやポスターの掲出をした。 ・展望台空中エスカレーター部分に装飾を実施。 ・札幌ドーム公式フィギュアを総合案内、展望台にて販売。 ・総合案内や展望台受付を季節に合わせて装飾してお客さまをお迎えした。季節感を出して定期的に店舗装飾を変えることで、集客数やお客さまの注目度増が目的。 ・当社自主イベントにおける当該来場者への展望台料金割引施策を行い展望台利用促進拡大を図った。(団体料金 7月23日～24日 大ほっかいどう祭り) (特別優待料金 5月3日～4日、11月23日～24日 サッポロモノイレッシ) ・5類移行後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、飛沫防止フィルムの設置継続や適宜消毒するなどし、観光客に不安を与えないよう努めた。 ・2月4日～2月11日の雪まつり期間に集客施策として、ZOKZOKアーティストさんとのコラボ企画を行い、夜間延長営業を行った。 ・今後の展望台景観施策に向け、テレビ望遠鏡を撤去した。	に努めた。 ・外国人観光客の利便性向上や他の観光施設と連携した企画の実施、各種媒体での積極的な情報掲載などを通して、年間を通じて幅広い集客に努めた。 ・コンサドーレ様との連携強化を図り、ホームスタジアムイメージの向上に努めた。 ・相互割引の全対象施設担当者との直接会話による情報交換等を行った。 ・GWやハロウィン、クリスマスなど季節に合わせた企画や装飾を実施し、来場促進及びサービス向上に努めた。	など、利用促進に向け積極的に取り組んでいる。																
(6) 付随業務	▽ 広報業務 ▼ 広報誌「ドームニュース」 ・2024年度は4月・6月・8月・10月の4回、A4表裏1ページの内容で発行し、イベント情報や大和ハウス プレミストドームの利用案内を告知するためのツールとしてその効果を発揮した。 ・館内や市区役所、JR主要各駅等に設置したほか、近隣世帯にはポスティングによる配布を実施した。 ・設置場所へのアンケート結果や、お客さまからもペーパーレスの推進する意見も寄せられていたことから、10月発行号をもって休止することとした。 ・北海道コンサドーレ札幌の選手インタビュー等のドームニュースのコンテンツはWEBサイトにて引き継いで実施し	・各種広報媒体の使用、また既存媒体のシステム、コンテンツ強化を図り、イベント情報や施設情報を、広く、分かりやすく市民へ提供した。 ・お客さまから寄せられたご意見やそれに基づく施設・設備等の改善	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">全ての要求水準を達成しており、広報業務においては要求水準を超える取組を行っていることから『A』評価とする。</td></tr> <tr> <td colspan="4">小項目別の評価は以下のとおり。</td></tr> <tr> <td colspan="4">「広報業務」においては、イベント情</td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	全ての要求水準を達成しており、広報業務においては要求水準を超える取組を行っていることから『A』評価とする。				小項目別の評価は以下のとおり。				「広報業務」においては、イベント情			
A	B	C	D																
全ての要求水準を達成しており、広報業務においては要求水準を超える取組を行っていることから『A』評価とする。																			
小項目別の評価は以下のとおり。																			
「広報業務」においては、イベント情																			

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
	ている。 ・12月からは、近隣世帯向けに隔月で「イベントカレンダー」の配布を実施し、イベント開催の周知を実施している。 ▼公式WEBサイト ※2025年度の表示回数 9,909,606回(前期比103.8%) ・イベント情報や新着情報など、担当部署との連携を密にし、迅速な情報発信を行った。 ・来場者向けのページとして「ご来場ガイド」を新設した。 ・アクセシビリティ試験にて適合レベルAAIに準拠を達成していることを確認した。今後も継続して適合レベルAAの達成を目標にしていく。 ▼その他広報 ・平成24年度から実施している「大和ハウス プレミストドームオンラインリサーチ」を継続実施した。 詳細は「1業務の要求水準の達成度(1)統括管理業務▽記録・モニタリング・報告・評価」を参照。 ・施設紹介・来場促進・来場者サービス・企業の取り組み等の周知を目的として、報道機関に向けたプレスリリース配信を113回実施した。 ・テレビ・新聞・雑誌等のメディアを活用した広報活動も適宜実施した。 ・ドームに親しみを持ってもらえる層を増やすためのPRツールとしてX、YouTube、LINEを継続して活用した。 ・10月より新たにInstagramの運用も開始した。 ・定期的に社長会見を実施しドームの取り組みを発信した。 ▼メモリアルコーナー ・大和ハウス プレミストドームの歴史を記念品の展示で紹介するメモリアルコーナーに、これまでのイベント開催の軌跡として、歴代コンサートやスポーツイベントにまつわる記念品を展示した。また、企画展示として、「高校ラグビー展」「高校野球展」「高校サッカー展」を実施し、来場促進や、イベント来場者の満足度向上に努めた。 ▼マスコットキャラクター ・マスコットキャラクター「チャームコロ」をウェブサイトや広報誌に掲載するなど、広報業務において活用した。 ・マスコットキャラクターをウェブサイトや紙面で使用するほか、ノベルティやグッズを制作することで、利用者の興味・関心を高め、親しみをもって大和ハウス プレミストドーム	結果をウェブサイトに公表することで、広報活動における、お客さまとの双方向コミュニケーションの強化を図った。 ・ウェブサイトを適宜見直し、各種情報発信の強化に努めた。 ・大和ハウス プレミストドームのことを知ってもらい、ファンを拡大するため、XなどのSNSを活用し、期中からInstagramの運用も開始した。 SNS全体でのフォロワー数は19274人、発信数は543件となり、とても多くの方にドームの取組を認知していただくことが出来た。 ・新社長就任依頼、定期的に記者会見を実施し、ドームで実施するイベントの経済効果や新たに実施されるイベント情報など公表し、施設の重要性についてご理解いただけるようオープンな情報発信を行った。	報、新規事業、経営状況などについてのプレスリリースを1年で100本以上発出するとともに、定例社長会見の実施、XやInstagramなどのSNSでの発信数の強化など、情報発信を強化したことを高く評価する。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)								
	の情報に接してもらえるように工夫した。 ・チャームコロンの動くLINEスタンプを販売し、マスコットキャラクターの普及に努めた。 ▽ 著作権の管理に関する業務 ▼当社が大和ハウス プレミストドームを写真、模型、絵画、その他の媒体により表現する場合は、大和ハウス プレミストドームの設置目的を損なわないよう十分配慮した。また、第三者から当社が管理する大和ハウス プレミストドームの写真の使用申請があった場合には、適宜貸出を行った。 ▽ 公務視察対応 ▼今年度の公務視察対応は17件であった。 ▽ 保険の加入 ▼損害保険は来場者数、売上高、稼働設備の運転リスク等をもとにした「企業総合賠償責任保険」等に参加している。		プレミストドームの著作権を適切に管理している。 公務視察については、柔軟に対応しており、接遇等についても特に問題はない。 札幌市が求める仕様を満たす保険に加入している。								
2 自主事業その他											
▽ 自主事業	▼自主イベント事業 今年度実施した自主イベントは以下のとおり。 ・サッポロモノヴィレッジ(5月3日、4日、11月23日、24日) 共催:テレビ北海道 北海道内及び全国で活動するハンドメイド作家が集結するハンドメイドフェスティバルとして年2回の開催が定着した。 春期開催時はGW期間の中、総来場者数25,470名、秋期は総来場者数27,052名となった。出店者数は2日間開催することができ、昨年秋期開催は2,019ブースと過去最高の出店数となった。 ・北ガスグループリレーマラソンin札幌ドーム2025(7月19日) 共催:テレビ北海道 参加チーム617チーム、参加者数4,832名、来場者数13,295名の参加となった。今期は7月の3連休の中日での開催であったこともあり、昨年度に比べ参加者数が若干下回る結果となりました。また当日は雷注意報が発令されたことから、参加者の安全を考慮し初めて屋内コースのみの開催となった。	・大和ハウス プレミストドームの設置目的に貢献するため、自主イベントを開催して、市民の皆様が気軽にスポーツやイベントに参加できる機会を創出している。開業以来大和ハウス プレミストドームを管理運営する企業として蓄積したノウハウを活かし、イベントのレベルアップを図るだけではなく、新規イベントの開催にも力を尽くしている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">自主事業については、これまで実施してきた自主イベント等を継続実施したことに加え、「トレーニングルーム関連事業」や「敷地等利用事業」において新たな取組を実施することにより、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化という施設の設置目的の達成に寄与したと認められることから、『A』評価とする。</td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	自主事業については、これまで実施してきた自主イベント等を継続実施したことに加え、「トレーニングルーム関連事業」や「敷地等利用事業」において新たな取組を実施することにより、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化という施設の設置目的の達成に寄与したと認められることから、『A』評価とする。			
A	B	C	D								
自主事業については、これまで実施してきた自主イベント等を継続実施したことに加え、「トレーニングルーム関連事業」や「敷地等利用事業」において新たな取組を実施することにより、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化という施設の設置目的の達成に寄与したと認められることから、『A』評価とする。											

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
・STVどさんこフェスティバル大ほっかいどう祭inプレミストドーム(8月23日・24日) 共催: 札幌テレビ放送 大ほっかいどう祭は食、物産、観光などのカテゴリーを特化せず、「ひととじゃない北海道の魅力」を満載に詰め込んだイベントとして令和5年に初開催し、今年度4回目の開催。「北海道の元気と底力」をテーマに市町村の名産品、食、観光PRなどブース出店のほか、3本引き大会やステージ内容を見直し、2日間で29,714名のご来場を頂いた。 ・そらまめカンパニー“まめフェス”presents ふわふわアドベンチャー in プレミストドーム(1月2日～4日) コロナ禍以降3度目の開催となった。開業以来継続して開催しているファミリーイベントであり、冬期間に巨大エア遊具等で体を動かすことのできる場所を提供。お正月期間での開催であったこともあり、3日間で18,249人と昨年に比べ少ない来場数ではあったが、大きな事故等もなく安心・安全なイベントの開催をすることができた。 ▼飲食事業 ・当社と委託事業者で設立した「札幌ドーム飲食事業者協議会」が貴市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を継続締結した。 ・委託事業者に対して食品衛生講習会や定期的・継続的な検査等により、衛生管理レベルの維持向上を図り、安全な食事の提供に努めた。 ・「食中毒事故の防止」を最優先事項とした取り組みを飲食委託事業者と伴に協議し実施した。 【実施事例】 ・衛生コンサルタントによる衛生講習会(9月、4月) ・飲食売店厨房衛生検査(8月、2月) ・販売商品抜き取り微生物調査(7月、3月) ・賞味期限チェックリストによる商品確認と記録(各売店/毎営業日) ・従業員健康状況(熱・下痢他)の確認と記録(各売店/毎営業日) ・北海道コンサドーレ札幌様と協力した売店メニューの販売やコンセプトに沿ったキャンペーンを実施した。年間計画を共同で立案するなど、連携を深めながらSNS等の告知媒体を活用し実施した。 【実施事例】 ＜北海道コンサドーレ札幌＞ ・「コンサドーレ太鼓判メニュー」を販売 ・「コンサドーレ必勝弁当」を販売 ・「コンサドーレ新加入選手」、「柴田慎吾監督応援メニュー」販売 ～上記連動販促企画～ ・「選手カード」「直筆サイン入ホログラムカード」を配布			
		・食の安全を最優先して衛生管理を徹底したうえで、お客さまのニーズを反映して、売店の新メニュー企画、キャンペーン展開を行い、来場者サービスの向上を図った。 ・北海道コンサドーレ札幌様と協力したメニュー企画を行うことで、来場促進に寄与し、さらに食のエンターテインメント性を高めた。 ・コンサドーレ戦における館内演出、売上、施設イメージの向上に寄与した。	飲食事業において、衛生管理を徹底し、利用者のニーズに応じた商品開発や北海道コンサドーレ札幌と協力したメニュー開発を行うことで、利用者サービスの向上に努めている点は評価できる。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
・ドリンクメニューは「コンサドーレとのコラボカップ」で提供 ・「コンサエール」(オリジナルビール)を販売 ・「ビール半額デー企画」を実施 <変化に応じた来場者サービスの提供> ・虎鉄のザンギ、肉の燦燦、仙臺たんや利久の新店舗をOPENさせた。 (2026年1月、2月) ・コード決済の取扱いラインナップを追加した【SmartCode(スマートコード)】 ・『APEX LEGENDS™ GLOBAL SERIES YEAR 5 CHAMPIONSHIP』では、「シハチ鮮魚店」と「鳥永」の臨時営業するとともに、ゲーム内のレジェンドをイメージしたステッカー付き限定メニューを販売した。 ・「北海道スイーツ×プレミストドーム はらぺこ応援プロジェクト」を始動させ、小樽の老舗銘菓・花月堂とコラボした特製スイーツ「プレミアムあんバターどらやき(通称:ふれどら)」を販売した。 ▼物販事業 ・北海道コンサドーレ札幌による試合時の店舗営業にあたって、当社保有の物販用什器・備品類貸与を行った。あわせて、年間を通じて納品・売場準備に伴うスケジュール調整、大型POP制作代行等の全面的なサポートを行った。 ・コンサート興行等に伴う主催者による物販にあたっては、適正な販売管理手数料、備品使用料や釣銭手配手数料を徴収した。 ・直営の物販事業として、観光営業時には、ドームオリジナルグッズを総合案内で販売するとともに、コンサート興行日は館内コンコースにてワゴンにてオペラグラスを販売するなど、利用者ニーズに応じた商品を販売し来場者サービスに努めるとともに、アルバイトスタッフへの雇用機会を創出し雇用の確保・継続に努めた。 ▼広告事業 ・大和ハウス工業株式会社さまとネーミングライツ契約を締結することでの収益向上および愛称「大和ハウス プレミストドーム」の露出、認知度向上に努めた。 ・大和ハウス プレミストドームの広告媒体としての価値を有効活用して収益向上に努めた。 ・コンサドーレ様と調整をし設置した、バックスタンド側フェンスLEDにおいて、広告としての収益だけではなく、演出面においても有益で、スタジアムとしての魅力向上に努めた。 ・広告看板事業は2026年2月に更新時期を迎え、2026-2028年の2年契約での販売を推進し価値向上、収益向上に努めた。 ・パートナーシップ制度はプラチナ14社、ゴールド3社と契約更新を行		・来場者に対する食の提供と利便性向上に努めた。 ・主催者様による物販をサポートするとともに、収益確保に努めた。 ・観光来場者向けのグッズ販売やコンサート時のオペラグラス販売などの直営物販は継続し、来場者サービスに努めた。 ・観光来場者向けのグッズ販売やコンサート時のオペラグラス販売などを販売し、来場者サービスに努めた。 また、総合案内ではアイスクレープなど販売商品を追加し、来場者サービス向上を図った。 ・大和ハウス プレミストドームの高い露出度を活かし、企業の皆さまが広告価値を得られるよう努めた。	広告媒体としての大和ハウス プレミストドームの価値が最大限活用されるよう、広告掲出企業との調整を実施している。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
い収益向上に務めた。 ▼ドームツアー事業 ・収益性を考慮し、主に団体予約を受けた日のみを営業することとし、事業をスリム化したが、展望台運営事業とあわせ、札幌の観光拠点としての役割を果たすよう努めた。 ・海外向け観光案内媒体への出稿やウェブサイトの翻訳機能、多言語案内可能なデジタルサイネージの設置により、海外からの観光客の取り込みを行った。 ・札幌市内の観光8施設と相互割引企画を継続実施した。(さっぽろテレビ塔、さっぽろ羊ヶ丘展望台、北海道開拓の村、北海道博物館、大倉山展望台、札幌芸術の森、札幌市時計台、タワー・スリーエイトJRタワー展望台) ・ホームスタジアム色をより強めるためドームツアーコースに北海道コンサドーレ札幌のロールスクリーン装飾を継続し、メインロッカーである3塁側ロッカーも見学コースに含め、実際の選手ロッカーをよりリアルに感じてもらいお客様の満足度向上を図った。 ・北海道コンサドーレ札幌との連携強化を兼ねた集客施策として、クラブコンサドーレ会員向けの優待料金設定に対し、両社による告知展開を継続実施した。 ・通常のドームツアーに加え、学習を目的とした20名以上の小学生団体へ向けた、「大和ハウス プレミストドーム環境ECOツアー」を実施。主に、プレミストドームのECO活動を中心にご案内するツアー。諸室見学ではなく学習をメインとするツアーは、受け入れ可能日の増加に繋げるのを目的とすると共に、お客様に見学の選択肢を拡大しお楽しみいただけている。 ・プレミストドームオリジナル商品を総合案内(ドームツアー受付)にて販売継続中。 ▼チケット販売・管理事業 ・当社管理のもと、プレイガイド各社や(株)コンサドーレ様に販売委託するなどし、各イベントで前売駐車券の販売管理を確実に遂行した。また、当社自主事業においては各種発券対応を内製化しプレイガイドへの委託と比較しコスト削減に寄与した。 ・コンサート開催時のシャトルバス運休に伴う代替アクセス方法として普通車駐車券の販売を行い、来場者ホスピタリティー維持・向上に努めた。 ▼友の会組織(メンバーズクラブ)事業 ※2026年3月末現在 会員数 8,360人 ・カード会社との連携により、チケット購入を効率的に行えるサービスやカード会社のサービスを提供した。 ・カード会社により、会員の皆さまの個人情報を高いセキュリティレベルのもとで管理した。 ・友の会組織「札幌ドームメンバーズクラブ」の告知媒体として「DOMESTIC PRESS (ドームプレス) ウェブ版」やメールマガジンを活用しイベント開催情報やチケット販売等の告知を行い、会員の来場促進、サービス提供の維持に努めた。 ・カード利用促進キャンペーンを実施し、会員離脱予防に努めた。 【カード利用促進キャンペーン実施例】 ・一定額のカード利用を応募条件として、対象者に抽選でギフトカードを贈呈した。 ・会員向け企画の実施により、会員組織に対する商品価値及び認知度の向上を図った。		・札幌市内の観光施設と連携して相互割引企画を継続実施するなど、札幌を代表する観光拠点の一つとして、施設の魅力を効果的にPRした。 ・北海道コンサドーレ札幌様との連携強化を図り、ホームスタジアムイメージの向上に努めた。 ・予約制による運用で事業の効率化を図っている。	札幌市を代表する施設として、観光客向けの取組を効果的に実施している。
		・チケットの配券・販売・精算管理業務までを総合的にを行い、主催者さまへのサポート体制を整えることで、有料イベント誘致にも寄与している。	来場促進や利便向上に向けた様々な改善を行っており、利用者サービスの向上に努めている。
		・友の会組織事業では、ウェブサイトやメールマガジンを利用し、イベント情報とともにチケット販売情報を詳細に広報することによって、お客さまへのサービス向上とイベントチケットの販路拡大に繋がった。	
		・会員が優待になる企画を実施するなど会員サービスの向上に努めた。	

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
【会員向け施策の実施例】 駐車券や自主イベント参加券の会員向け優待価格販売を実施した。 ▼地域貢献事業 ・近隣小学校の校外学習の受け入れ(1日) 近隣小学校の地域を学ぶ教育の一環として、子どもたちが大和ハウス プレミストドームの敷地と展望台を遠足で訪れ、小学生全校児童と教員が来場した(参加者数: 福住小学校1～6年生 計612名) ・「野鳥観察会」「生き物探検隊」を実施 (株)コンサドーレ様及び大成建設様と連携し、試合開催日に敷地内での野鳥観察会(5月6日、22名)及び生き物探検隊(昆虫採集・観察会/8月2日、29名)を実施。プレミストドームにおけるネイチャーポジティブへの取り組みも紹介した。 ・「グリーンキーパー+サッカー体験会」を実施 豊平区、(株)コンサドーレ様、当社の3者連携により、競技の魅力や興味の向上、裏方スタッフの仕事体験を通じて「働く楽しさ」を学ぶことを目的に、グリーンキーパー+サッカー体験会を開催した(参加者: 豊平区内小学1～3年生とその保護者様 計54名) ▼トレーニングルーム関連事業 ・積雪期間におけるスポーツ機会の創出のため、3階コンコースをランニングコースとして開放する「ナイトラン」を35日実施し、2,570人(前期比: 開催日数増減なし・94名増)が利用し、利用者が安心してランニングをできる環境づくりに努めた。 ・3D高速振動により筋肉を刺激・活性化し、運動効果を最大限に高めることができるマシン「パワープレート」を導入している。 ・運動教室(展望台ナイトヨガ/ピラティス<16回 280名参加>)などを開催し、楽しく運動をする機会を提供した。 ・ホヴァリングサッカーステージで行うヨガ教室「Green Mind Yoga」を開催した。コンサドーレ戦開催日翌日のアリーナにサッカーステージが入った状態を活用し、天然芝のフィールドでドームの特別感を感じながらヨガを体験する機会を提供した。 ・利用者の利便性向上のため、月極めロッカーの貸出を行っている。シューズや着替えなどを保管するスペースを有料で提供し、日常的に使える便利な施設となるように努めた。 ・トレーニングルーム利用者が利用当日に屋外を走ることができる「ソトラン」を実施している。トレーニングルームの更衣室ロッカーに荷物を預けたまま、屋外ランができるサービス。日常的に使える便利な施設となるように努めた。 ・各種マシン利用の他に、パートナーストレッチ、パワープレート(指導付き)、体組成計測の有料サービスを導入・実施している。 ・正確な身体情報をもとにより細かいカウンセリングを実施するための体組成計、身体の傾きや歪みを測定できる姿勢測定、体重のかかり方や負担の大きい箇所を測定できる足圧測定を実施した。 ・利用者に対し、利便性向上のため、トレーニングルーム内の券売機は電子マネー対応のものを設置している。 ・貴市と連携し、「ウェルネス関連施策」や「アルカサル モニター事業」へも参画し、市民の健康増進に寄与した。		・環境、ネイチャーポジティブ、スポーツや仕事などをテーマにした啓発企画を実施し、「地域の一員」として地域社会の発展に貢献できるよう取り組んだ。 ・ナイトランや運動教室など、市民の方々に気軽にスポーツができる機会の創出づくりに積極的に取り組んだ。 ・運動教室実施回数(計 19回) a. 展望台ナイトヨガ: 14回 b. ヨガ教室: 2回 c. ピラティス教室: 3回 ・トレーニングルーム利用者へのサービス向上のため、パワープレートやパートナーストレッチなどのサービスを自主事業として実施した。 ・券売機は電子マネー対応のものを設置し、利用者サービス向上に努めている。 ・換気・消毒等を引き続き実施し、	校外学習の受け入れなど、施設の設置目的の達成及び地域貢献に積極的に取り組んでいる。 ナイトランの実施や展望台、ホヴァリングステージでのヨガ教室の実施等、施設の特性を生かしながら市民に運動機会の提供を行っていることは、施設の設置目的の達成に寄与していると認められる。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
▼敷地等利用事業 〈DOME Snow Zone〉 ・例年、積雪期間にサッカー練習場を近隣周辺の冬のあそび場エリアとして活用し実施している「ゆきひろば」を、今年度から運営方針を変更し観光客向けの「都市型スノーパーク」として展開し、ドームをハブとした観光客の人流創出、地域経済活性化に寄与することを目的に、名称も「DOME Snow Zone」(DSZ)へリニューアルし、1月6日～2月28日までの延べ51日間と前年よりも大幅に開催期間を延長し、中華圏の旧正月である春節時期におけるインバウンド観光客の取り込みも視野に実施した 「DOME Snow Zone」(DSZ)は、ロゴも一新しこれまでの近隣・周辺のこどもや家族に加えて、札幌中心部からのアクセスの良さを強みに、インバウンドなど観光客の誘致できる「都市型スノーパーク」として開催した。 また、DSZエリアを有料として運営。北海道在住の方は「道民割」として料金を優遇し運営。 ・今年度は他事業者の運営主体にてスノーラフティングに加えスノーモービルを実装し、スノーパークエリア全体として魅力とスケールアップを図った。また、従来の雪上ストラックアウト・雪上キックターゲット・雪上ラグビー等の雪遊びアイテムに加え、チューブすべりやスライダー遊具の大幅な増加、さらに、フォトスポットの設置やウエアレンタルなど利用者の利便性やホスピタリティ向上に務めた。 ・敷地内の案内サインやバナー等の拡充整備を図り、さらに㈱日本航空様にも協力をいただきをのぼり旗を掲出するなどの雰囲気づくりや来場者ホスピタリティの向上を図った。 ・今年度もさっぽろスノースポーツパークイベントと連携し、利用者の満足度向上を図った。 ・ムラサキスポーツ様と連携し、スノースライダーカップイベントは開催し、DSZの集客・認知度向上に努めた。 ・SNSでの情報発信やインフルエンサーの活用、メディアを活用した情報発信など、積極的なDSZの認知度アップをおこなった。 ・今年度のDSZは札幌市「冬季観光コンテンツ造成補助金」対象事業として実施した。 ◎DSZ来場実績 開催期間：2026年1月6日～2月28日 開催日数：延べ51日 来場者数：1,604人(道内1,233人、道外223人、インバウンド148人)		利用者の安全安心な利用環境の提供に努めた。 ・非イベント日や冬期間の来場促進のため、広い敷地と豊かな自然を活用したスノーパークを継続して実施した。 今年度より、インバウンド観光客の誘致にも注力し、事業方針を転換し、コンテンツの拡充や案内サインやバナーなどの会場整備もおこない、来場者の利便性や満足度向上を図った。	スケートボードエリアやバスケットコートを開放し、市民に日常的な運動機会を提供している。さらに例年開催していた「ゆきひろば」を発展させインバウンドの誘致に取り組んでいる。これらの取り組みは、施設の設置目的の達成に寄与していると認められる。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
〈スケートボードエリア〉 屋外人工地盤南側(2階エリア)の「スケートボードエリア」を2025年4月26日から降雪前の10月末まで無料開放した。 スケートボードのほか、BMX・MTB・ランニングバイクも使用可能とし、アーバンスポーツの普及に貢献した。 (開放日数157日、利用者数811人) (レバンガコートエリア) レバンガ北海道のバスケットゴール設置プロジェクト「LEVANGA GREEN GARDEN PROJECT」の一環として、屋外人工地盤北側(2階エリア)の「レバンガコート」を2025年6月27日から降雪前の10月末まで無料開放した。 スケートボードのほか、BMX・MTB・ランニングバイクも使用可能とし、アーバンスポーツの普及に貢献した。 (開放日数 111日、利用者数 2,157人) (ドローン事業) 本事業は、プレミストドームの屋内外空間を活用し、ドローンに関する教育・実証・エンターテインメント分野における事業展開を推進している。 2026年2月には、道内3社と「ドローン事業に関する連携協定」を締結し、ドローンを通じた新たな体験の提供および社会課題の解決に向けた推進体制を構築した。 現在、ドローンスクールの開校に向けた整備を進めるとともに、企業・団体向けの実証実験フィールドとしての活用や、ドローンサッカー等の新たなコンテンツ導入に向けた検討を行っている。 これらの取組を通じて、人材育成や新たな体験価値の創出を図るとともに、ドローンを活用した社会課題の解決に寄与することを目指している。 ・屋外人工地盤南側(2階エリア)・オープンアリーナに「距離表示サイン」を施し、ランニング・ウォーキングの参考になるようにしている。 ・樹木に、それぞれの木の名前がわかるようプレートを設置している。 プレート記載のQRコードから専門WEBサイト「Web植物辞書「花ペディア®」」へ誘導され、より詳しい情報を入手することができる。散歩の楽しみが増えたと、散歩の方からも好評である。 ・おさんぽMAP「植物版」「生き物版」「アート版」の3種を無料配布している。 ▼札幌ドーム3D管理事業 「札幌ドーム3D利用規程」に則り、コロナ禍以来需要が高まっている札幌ドーム3Dデータを適切に運用している。		スケートボードエリアでは、外部連携によるスケボー教室を2回実施し、認知度アップとアーバンスポーツの普及に努めた。 また、今年度よりあらたにレバンガコートを設置・開放し、多くの市民に利用いただいた。 いずれのエリアも特段の事故やトラブルなく適切に管理運営をおこなった。 当社の新規事業の1つであるドローン事業において、ドローンスクールの開校にむけた準備を着実にこなした。 ※次年度6月1日の開校を目指す。	
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等		・市内企業の活用については業務計画のとおり実施した。	市内企業の活用については計画のとおり実施している。
▼市内企業の活用に関し、専門性の高い業務は札幌市内に本店または支店営業所のある企業14社に対し再委託を実施した。			

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)								
▼2025年6月1日現在の障害者雇用率(実雇用率)は、3.51%、不足数は0人であった。 ▼障がい者就労支援施設等に対して、印刷物の発注を行った。											
3 利用者の満足度											
▽ 利用者アンケートの結果		・観光来場者とトレーニングルーム利用者へアンケートを実施し、700名を超える回答が得られた。 全706名の回答者のうち、総合満足度は641名(90.8%)、接客・接遇に関しては653名(92.5%)の利用者から高い満足度が得られた。 その結果からも、利用されたお客さまから、内容・接遇ともに高い利用者満足度評価を得られたことが確認された。	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> 管理運営業務の利用者満足度の調査における調査標本数については、総合満足度及び接遇に関する満足度の目標値を80%としているところ、総合満足度、接客満足度ともに9割を超えたことから、『A』評価とする。今後も利用者の意見・要望を踏まえた事業の実施、サービスの維持向上が図られることを期待する。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	管理運営業務の利用者満足度の調査における調査標本数については、総合満足度及び接遇に関する満足度の目標値を80%としているところ、総合満足度、接客満足度ともに9割を超えたことから、『A』評価とする。今後も利用者の意見・要望を踏まえた事業の実施、サービスの維持向上が図られることを期待する。			
A	B			C	D						
管理運営業務の利用者満足度の調査における調査標本数については、総合満足度及び接遇に関する満足度の目標値を80%としているところ、総合満足度、接客満足度ともに9割を超えたことから、『A』評価とする。今後も利用者の意見・要望を踏まえた事業の実施、サービスの維持向上が図られることを期待する。											
実施方法	ドームツアー・展望台来場者にアンケート用紙を配布(502名が回答)										
結果概要	・総合満足度、接客満足度ともに8割を超え、良い評価をいただいた。										
利用者からのご意見・ご要望とその対応	ご意見、ご要望は別紙のとおり。対応については次回実施に向け検討中。										
実施方法	トレーニングルームについては新規利用者を中心にアンケートを実施(204名が回答)										
結果概要	10代～60代と幅広い層に興味をもっていただいており、豊平区、清田区、白石区で75%と近隣にお住まいの方に多くご利用いただいている。アンケート回答の年代別では30代が最も多く37.5%。アンケート全体では40～60代が25%を占め、スポーツを通じた健康増進に貢献している。また、総合満足度、接客満足度ともに95%を超え、好評価をいただいた。										
利用者からのご意見・ご要望とその対応	トレーニングルーム内にコミュニケーションコーナーを設置して随時ご意見・ご要望を収集し、独自のクレームマネジメントシステムを活用して協議・検討をおこない、解決に向け取り組んでいる。										
4 収支状況											
▽ 収支		大規模コンサート利用日数の増加、貸館に伴う受託業務売上の増加、物価高騰による札幌市有施設の料金改定に伴う利用料金収入の増加などにより貸館事業	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> 収入はイベント利用の確保等に努めたことにより計画比約6億5千万円増となり、収支差(収入-支出)は計画値を上回る約2億8 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	収入はイベント利用の確保等に努めたことにより計画比約6億5千万円増となり、収支差(収入-支出)は計画値を上回る約2億8			
A	B			C	D						
収入はイベント利用の確保等に努めたことにより計画比約6億5千万円増となり、収支差(収入-支出)は計画値を上回る約2億8											
項目	R7年度計画			R7年度決算	差(決算-計画)						
収入	1,782,686			2,434,236	651,550						
指定管理業務収入	1,162,152	1,508,650	346,498								
指定管理費(光熱費高騰分)	73,180	55,304	▲ 17,876								

指定管理者評価シート

事業名		体育施設運営管理費		所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
▽	利用料金	667,300	853,649	186,349	・商業事業・駐車場事業で大幅な増収となった。また、広告事業はネーミングライツの売上が年間を通して計上されたことから大幅な増収となった。 なお、販売費及び一般管理費についても物価高の影響や社員数の増加、新規事業への投資などにより増加したものの、計画を上回る大幅な利益増が見込まれたことから、スポーツの普及振興等に活用いただくため札幌市に対して現金40百万円を寄附した。
		その他	421,672	599,698	178,026
	自主事業収入		610,764	915,009	304,245
	受託事業収入		9,770	10,577	807
	支出		1,740,346	2,151,700	411,354
	指定管理業務支出		1,455,978	1,613,754	157,776
	自主事業支出		274,598	527,369	252,771
	受託事業支出		9,770	10,577	807
	収入-支出		42,340	282,536	240,196
	利益還元		295,386	163,430	▲ 131,956
▽	1管理運営経費充当		282,264	21,704	21,704
	2消費増税減収補填		0	0	0
	3アマ大会支援		11,563	83,400	83,400
	4招待事業等貢献		0	0	0
	5改修工事等		1,560	17,926	16,366
	6保全小規模修繕		0	0	0
	7その他利益還元		0	40,400	40,400
	利益還元後の収支 (収入-支出-4-5-6-7)		40,780	224,210	183,430
	法人税等		530	69,360	68,830
	説明		＜貸館事業＞ コンサート利用日数の増加、受託業務売上の増加、利用料金改定などにより、貸館事業の売上高は14億20百万円(前期比14.3%増)となった。 ＜商業事業＞ コンサート利用日数の増加に伴う物販売上などにより、商業事業の売上高は3億15百万円(前期比79.4%増)となった。 ＜観光事業＞ DOME Snow Zoneのインバウンド向けコンテンツ化などにより、観光事業の売上高は5百万円(前期比37.8%増)となった。 ＜その他事業＞ ネーミングライツ売上の通年計上や利用料金改定などにより、広告・駐車場事業が増収となった。 ＜その他営業収益＞ 4億68百万円(前期比28.2%増)となった。		

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼貴市に寄附する設備投資・改修工事を毎年継続して行っている。

適

不適

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
▼開業以来借入金もなく、良好な財務状況である。 ▼来年度の黒字化により、財務状況の健全化を維持する取り組みを行うとともに、予算実績管理を定期的に行い、営業利益に応じた予算の修正を適宜行っている。			
▽ 個人情報保護法、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼個人情報については、各種法令及び社内規程を遵守するとともに、貴市の定める個人情報取扱安全基準に従い、安全管理対策を適切に実施している。 ▼情報公開について、6月に当社ホームページにおいて財務諸表等の公開を実施している。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
来場者数につきましては、イベント来場者は前期を上回る120万3千人(前期比8.2%増)、総利用日数は、合計259日(前期比2日増)となり、稼働率は71.0%(前期比0.6ポイント増)となった。 具体的な施策としては、札幌市との連携をより強化し、大和ハウス プレミストドームの魅力と価値を高めるための取り組みを積極的に進めるとともに、大和ハウス プレミストドーム開業30周年を迎える2031年に向けてのありたい姿として掲げた長期ビジョン『SV-31』の実現に向けて、今年度を最終年とする3ヶ年計画『中期経営計画2024』における「主催者連携による利益最大化」「多様な価値や変化への対応」「社員の成長・スキルアップ」「親しみのある地域のシンボル」「環境にやさしい企業」「新たな市民文化の共創」という6つの基本戦略からなる中期経営方針と、新体制発足後に新たに定めた経営プラン『DOME ReSTART PLAN ~ Dreams Move Again』のもと、事業活動を進めてきた。 ■主催者連携による利益最大化 「いっぞJ1! 昇格応援プロジェクト」として飲食売上の一部を株式会社コンサドーレ様に還元しJ1昇格を支援するとともにキャンペーンや告知で連携を強化したほか、「さっぽろMICE東京プロモーション」を主催し東京の企業を対象として札幌市内の3施設合同でMICE誘致を実施した。	第29期(令和8年度)は指定管理者制度における第5次指定期間(5年間)の4年目となり、次期指定期間も見据えた重要な年となる。これまでのノウハウを生かした管理運営を堅持しつつ、大和ハウスプレミストドームのブランド価値を最大化させるための施策を積極的に展開し、利用者満足度の向上と地域活性化に寄与する施設運営に邁進する必要がある。 当該事業年度は、長期ビジョン『SV-31』および新経営プラン『DOME ReSTART PLAN ~ Dreams Move Again』の実現に向け、新たに策定した『中期事業計画2030 & アクションプラン2026』のもとで、当該事業年度の基本方針として「既存事業の収益向上」「新たな収益モデルの確立」「ブランド価値の向上(地域シンボル化の推進)」「Valueの定着」の4つの方針を掲げ、事業活動を推進していく。 ■既存事業の収益向上 貸館事業において高収益イベントや平日イベント等の新規イベントセールスを強化する一方で、すでにイベントを開催いただいている主催者様と更なる連携を図り集客数や開催日数の増加による収益向上にも取り組んでいく。また、札幌市内の他のMICE施設との連携を主導し、札幌市へのMICE誘致を推進するほか、飲食事業

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
■多様な価値や変化への対応 従来のゆきひろばをDOME Snow Zoneとしてリニューアルしインバウンド向けのコンテンツを創出したほか、旅行業免許の取得やドローンスクール開校の手続きを行うなど、新規事業の準備を進めた。 ■社員の成長・スキルアップ 会社事務所のレイアウトを変更しフリーアドレス化により部署間の連携を強化したほか、代表取締役社長と全社員の個別面談(1on1ミーティング)や新規事業に関するプロジェクトへの参加を通じてアントレプレナーシップを育み、成果主義を取り入れた人事考課制度の検討を進めた。 ■親しみのある地域のシンボル 「JALさっぽろスノースポーツパーク」を継続開催し、さっぽろ雪まつりとの連携を図ったほか、札幌国際大学との連携授業の実施や実験施設ZOKZOKとのコラボレーションによる展望台での彫刻展示など地域と連携した取り組みを行った。また、株式会社レバンガ北海道様のバスケットゴール設置プロジェクトの第1号目として、気軽にバスケットボールを楽しめる屋外3x3コート「LEVANGA COURT」を敷地内にオープンし、スポーツを通じた地域の居場所づくりに貢献した。 ■環境にやさしい企業 当社の生物多様性の取り組みが評価され環境省の「自然共生サイト」に認定されたほか、「サステナKIDSアワード」への参加を通じて市内の小学生への啓蒙を行った。 ■新たな市民文化の共創 国際的なeスポーツイベントの継続開催を通じてゲームのまちとしての市民文化の醸成に寄与したほか、秋季の花火大会や積雪のある時期のマラソン大会の継続開催、サバイバルゲームイベントの新規開催など、多様なイベントを開催した。		においては、北海道らしさなど、特徴や魅力のある飲食展開を行い、客単価と収益性の向上に取り組んでいく。 ■新たな収益モデルの確立 2年目となるDOME Snow Zoneのプロモーションを強化し、冬のインバウンド需要を確実に取り込むことで訪日客が市内・道内に滞在・周遊する流れを創出することを目指していくほか、ドローンスクールの開校をはじめとするドローン事業への挑戦により、大和ハウスプレミストドームをドローン実装の拠点へと進化させ、北海道・札幌を日本のドローン先進地域へと押し上げる取り組みを推進していく。 ■ブランド価値の向上(地域シンボル化の推進) 国際的なeスポーツイベントの継続開催のほか、フェスティバル型音楽ライブを二年ぶりに開催するなど、新たな市民文化となりうるドーム開催イベントの定着を図っていく。また、市内大学との連携授業により非イベント日のドーム活用をテーマとした企画の実現を目指すほか、『ドーム居場所づくりプロジェクト』の活動を通じ、居場所のない子どもたちを支援し、社会課題の解決にも取り組んでいくほか、大和ハウスプレミストドームが地域のシンボルとして末永く親しまれるよう施設の愛称のさらなる定着を図るとともに、敷地内における生物多様性の取り組みについても市民の皆様の理解が深まるよう発信を強化していく。 ■Valueの定着 OPEN、FLAT、CREATIVE、CHALLENGE、CUSTOMER CENTRIC、SIMPLEの6つの価値観の定着を目指し、人事考課制度の改正に着手し社員の成長を促していくほか、新規事業に必要なリスティングを推奨するとともに、社員提案型のプロジェクトを立ち上げアントレプレナーシップの醸成を図っていく。また、生成AI等のデジタル基盤を活用した業務効率化にも取り組んでいく。	

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
全ての項目について要求水準を満たしており、計画どおりに業務を遂行しているものと評価する。 収支については前年度と比較し、増収増益、来場者につ	今後も引き続き設置目的の達成に向けた様々な取組が展開されることを期待する。

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
いても前年度から増加しており、総評して健全な経営を行っているものと評価できる。 利用者サービスの向上や施設維持に必要な保全工事を実施し、積極的に市や利用者への利益還元を行っていることは大変評価できるものである。 新たな経営プランに基づき、これまで取り組んでいなかった様々な新規事業を展開しているだけでなく、地域の企業や学生との連携を含めた社会貢献的要素を含む事業を展開するなど、市民道民に親しまれる施設づくりに尽力しており、施設の設置目的達成に寄与する管理運営を行っているものと大変評価できる。			